

富県宮城推進会議幹事会 議事要旨

【第 1 回幹事会】

(主な会議内容)

①富県宮城推進会議幹事長，副幹事長の選出について

(幹事長) 東北大学・渡邊副学長

(副幹事長) 社団法人みやぎ工業会・白幡副会長，宮城県・若生経済商工観光部長

②「富県宮城の実現」に関する県の取組について

県の取組について説明し，出席者から了解があった。

(主な発言要旨)

- ・ 農産物などの小口貨物を日本全体から九州に集めようという動きがあるが，東北でも仙台などに集積を図る必要があるのではないかと。(東北経済連合会)
- ・ 富県宮城推進会議の取組としては，情報と観光などに重点的に取り組んでいけば良いのではないかと。(宮城県経営者協会)
- ・ 企業の早期調達とコスト削減を手助けするため，こういった製品が県内で調達可能かということデータベース化してはどうか。(仙台経済同友会)
- ・ 貞山運河の有効利用，エンターテインメント施設(特区としてのカジノ誘致)を進めてはどうか。(東北ニュービジネス協議会)
- ・ ターゲットを明確にして，宮城県の強みを活かしつつ，こういった食品製造業を強化して付加価値を上げていくかを考えるべき。(宮城県商工会議所連合会)
- ・ 地域資源を活用した地域振興に取り組んでどうか。(宮城県商工会連合会)
- ・ 中小企業においては，人材育成の有効性が言われており，取組が必要。(宮城県中小企業団体中央会)
- ・ 高度IT人材の育成には，実務経験を踏む必要があり，そのような仕事とのマッチングが必要。(宮城県情報サービス産業協会)
- ・ ディスティネーションキャンペーンを契機に連携を深め，終了後も伸ばし続けられる取り組みが必要。(宮城県観光誘致協議会)
- ・ 道路や港湾，空港といった輸送手段のインフラ整備も重要。(宮城県建設業協会)
- ・ 大消費地隣接の利点を活用した園芸への生産シフト必要。(宮城県農業協同組合中央会)
- ・ 一人当たり市町村民所得が県平均を上回るのは4市町村のみであり，等しく経済波及効果が及ぶように考えていくことが必要。(宮城県町村会)
- ・ 米は産出額の落ち込みが激しく，米以外の品目に取り組み付加価値を高めることが必要。(東北農政局)
- ・ 幹事会の役割として，県の重点に対して各団体の施策の一貫統合した連携を図ることを検討してはどうか。(みやぎ工業会)

【第2回幹事会】

(主な会議内容)

①「みやぎ発展税」について

「みやぎ発展税」と「企業立地促進税制」の概要の報告がなされた。

②「富県宮城の実現」に向けた各団体の取組について

富県宮城の実現に向けた各団体の取組事項を共有するとともに、「観光」「人材育成」で協働した取組を検討することを合意した。

(主な発言要旨)

- ・ 製造業の成長発展が期待されているが、他団体との連携が必要。(みやぎ工業会)
- ・ 「流通」や「物流」といった視点も必要。(東北学院大学)
- ・ 自分たちの取組を上手にPRしていくアピールが必要。(東北経済産業局)
- ・ 東北として連携すべきことがあれば協力していく。(東北農政局)
- ・ 観光のなかでも、「食」、「産業」、「伝統文化の保全」等を結びつけ、点から線へと発展させる取組が重要。(東北大学)
- ・ 旅館やレストランで旬の食材を安定的に供給できる体制づくりのためにも、農家や漁業者との連携が必要。(宮城県商工会議所連合会)
- ・ 産業人材育成について、県で一貫統合した上で費用対効果を見て役割分担を考えるべき。(みやぎ工業会)
- ・ これからの観光は素材が大事であり、「個性ある地域づくり」をして商品造成につなげる工夫が必要。(東北経済連合会)